

輝かしい未来を創る教育の実現への挑戦

～今、わたしたちがやれること、やるべきことは何か～

魚沼・小千谷支部 支部長 小千谷小学校長 高橋 和人 (59)

各学校では、昨年度来、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながらの教育活動が余儀なくされています。そのような中でも、昨年度は「教育フロンティア2020」を行い、会員の皆さんが集い、学びを深めることができました。また、「信濃の会」「魚野の会」では、飲食はできませんでしたが、全国的に懸案事項である「働き方改革」という共通のテーマで語り合い、自己の働き方を見つめる、また見直す機会を得ることができました。また、この広報誌「山河」で会員の皆さんとつながることができました。そして各校では例年のごとく地域教育プログラムの推進、授業改革を着実に進めていただきました。皆の知恵とたゆまぬ努力で前進できたことに感謝いたします。

さて、4月24日に昨年できなかった総会を実施することができました。会員の皆さん一人一人と対面する形で行うことができ、同じ空間を同志で共有できた喜びはこの上ないものでした。

まだまだ感染症禍は継続しますが、令和3年度の魚沼・小千谷支部の運営が充実し、全ての会員にとって、実り多い活動が推進できることを期待します。

そこで、今年度の支部スローガンを「魚沼・小千谷に学び（自立）、つながり（協働）、輝かしい未来を創る（創造）教育の実現 ～子どもに、新しい時代を創る確かな学力と郷土愛を育む～」とし、活動の重点を以下の6点としました。

- 1 社会の要請と会員のニーズに合った活動の推進（研修、年層別）
- 2 ときわ未来図の実現に向けた指導力を高める研修の充実（研修、授業改革・未来図）
- 3 会員の専門性を高める機会提供と顕彰、つながり感の強化と新会員の獲得（研修、組織）
- 4 多くの会員の顔が見える広報誌「山河」・研修誌「原流」の作成（広報、研修）
- 5 特別支援教育の充実と指導者の発掘・養成（特支サークル、組織、研修）

6 PDCAサイクルによる更なる改善（理事会、各委員会）

そして、個々には昨年同様、以下の3点を特に大事にしていきたいと考えます。

新学習指導要領の実施への確実な対応

昨年度の小学校に続き、今年度から中学校においても新学習指導要領の全面実施となりました。各自が「授業改革」を具現する年度です。積極的かつ自覚的な研修により、実践を積み重ね、確実な対応を期待します。

ふるさとを大切に、誇りに思う心を育む

魚沼・小千谷のよさの一つとして、多くの自然、歴史、伝統文化があります。それらに多く触れる教育活動を感染禍の中でも工夫して行い、子どもたちにふるさとを誇りに思い、愛する心を醸成していくことが肝要です。

働き方改革で、魅力ある教師の姿を発信

自身の仕事ぶりを見直し、タイムマネジメントを図ることが求められています。ときわ人として他の手本となり、教職は、かけがえのない、そして魅力ある職業であることを自らの姿で示していきましょう。

また、今年度は特設委員会として新たに「ICT推進委員会」を設置しました。「研修の歩みを止めない」という観点から、オンラインの研修でもスムーズに行うことを可能にするためです。対面のよさとオンラインのよさ、また、それぞれが補完し合うことで研修の実をより濃いものにできると信じています。

吉田ときわ会長が、今年度の代議員会で語られた「ときわの組織の強み」である「自由性」「多様性」「協働性」をここ魚沼・小千谷支部でも遺憾なく発揮し、今、やれること、そして今、やるべきことを明確にし、会員の皆さんが相互に錬磨し、生生発展していくことを大いに期待したいと思います。そして「輝かしい未来を創る教育」を、心一つにして実現させようではありませんか。